

## 第1回地域連携推進会議 会議録

日 時 令和7年9月19日（金） 14時～15時20分

場 所 山口県コロニー協会 3号棟2階会議室

**出席委員** 4名 N様（利用者）、N様（福祉に知見のある人）、T様（地域の  
関係者）、K様（経営に知見のある人）

**欠席委員** 1名 T様（家人）… やむ得ない理由の為

**事務局** 5名 岡本幸生理事長、神本大輔業務執行理事、佐々木久美事務  
局長、栗屋健斗事業部長（ワークセンター担当）、大形 幸（サ  
ービス管理責任者）

**理事長挨拶** 地域連携推進会議は、令和6年度の報酬改定時に施設入所  
支援と日中の介護を行う障害者支援施設は、令和7年度に委員  
会の開催を義務付けられた。

この委員会の制度は、入所施設の多くは閉鎖的な空間が多い  
ため外部の目を入れて透明性を高め、サービスの質を確保する  
ことを目的に設けられた。

当協会は、開かれた施設として運営していると考えているが、  
皆さんの貴重な声を拝聴し、更なるサービスの向上を目指し  
たいと考えている。

本日はよろしくお願ひします。

### **参加者の自己紹介**

委員、事務局職員が順に簡単な自己紹介を行った。

**委員長の互選** 委員長の互選を事務局が提案した。委員からK委員を推薦する声があり、全委員が同意しK委員は就任を承諾した。

### **議事の進行(K様)**

**委員長(K様)** 会議の次第に従い、サービスの概要説明を事務局に求めた。

**栗屋部長** 入所施設の定員数は令和6年度に60名から50名に変更し、現在は47名が入所されている。2名の職員体制で支援している。

日中の生活介護の定員は30名だが、契約者は50名で1日の平均利用者数は31.4人。これを、パート職員1名を含む11名の職員体制で支援している。

食堂の席は自由であったが、新型コロナウイルスの感染後は、指定席にしている。また、入所の部屋は二人部屋で入所者の一人が感染されると、もう一人は濃厚接触者としてその部屋を隔離する方法のコロナ対策をしている。

**委員長(K様)** 質問等が無いことを確認し、施設の見学案内を事務局に求めた。

## **大形係長**

……説明の前に事前に作成していた映像をプロジェクターで放映した。……

(口頭説明) 生活介護のサービスの利用者数は23名で8名は他のサービスと併用で利用されている。

入所利用者の平均年齢は60歳くらいで、入所利用者は若い頃にはコロニーで働かれていた人で、身体障害者が多く身体介助が必要な方が多い。

入所者と通所者が利用されているが、通所の利用者は、20代で知的、発達障害の方が多い。

このため、レクレーションも入所者はクイズ等頭を使うゲームで楽しまれ、通所利用者は運動等を好まれるため、同じ部屋で支援することが難しい。しかし、オセロ、ボッチャやお出かけなどは一緒に楽しまれている。入所者は3号棟の作業室で支援し、通所利用者は5号棟のにこにこ広場と3号棟の多目的室で支援している。

入浴支援は、月・水・金の3日

通所利用者の契約者数23名の内8名は他のサービスと併用されている。

入所支援のサービスは部屋には鍵はなく、施設には門や塀もなく外出が自由にでき、喫煙ができるなど基本自由に生活してもらえる施設です。

**委員（N様）** 休日に外出されるときに職員の支援は？

**大形係長** タクシー等で外出され、職員の支援はありません。

**委員長（K様）** 引き続いて事務局の案内で施設の見学をお願いします。

栗屋部長と大形係長の案内で

・ ・ ・ ・ ・ 3号棟、5号棟、2号棟（食堂）を案内し

途中で質問等に答えた・ ・ ・ ・ ・

見学終了後、

**委員長（K様）** 予定されていた議事が終了し、意見や質問等が無いことを確認し、委員会の終了を宣した。

委員会の終了後、事務局から、委員にアンケート記入をお願いした。